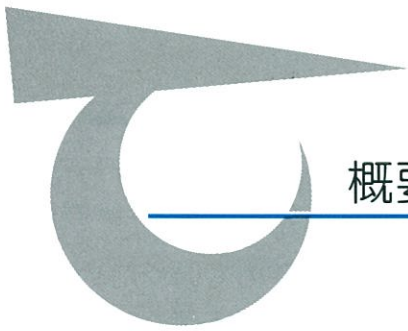


第 5 次 天龍村総合計画 基本計画



概要版

人と自然で協える かな 小国寡民のむら りそ うえき とう 天龍

計画の期間

第5次天龍村総合計画は基本構想と基本計画より構成します。基本構想は目標年次を平成32年度（2020年度）とし、平成23年度（2011年度）より10か年とします。基本計画は平成28年度（2016年度）より平成32年度（2020年度）までの5か年とします。

	平成28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度
第5次 天龍村総合計画	基本構想（平成23年度より10か年）					第6次計画				
	基本計画（平成28年度より5か年）									

第5次 天龍村総合計画 基本計画

本村では、平成23年に「人と自然で協える 小国寡民のむら 天龍」をキャッチフレーズとした第5次天龍村総合計画を策定し、これに基づいて施策に取り組んできました。

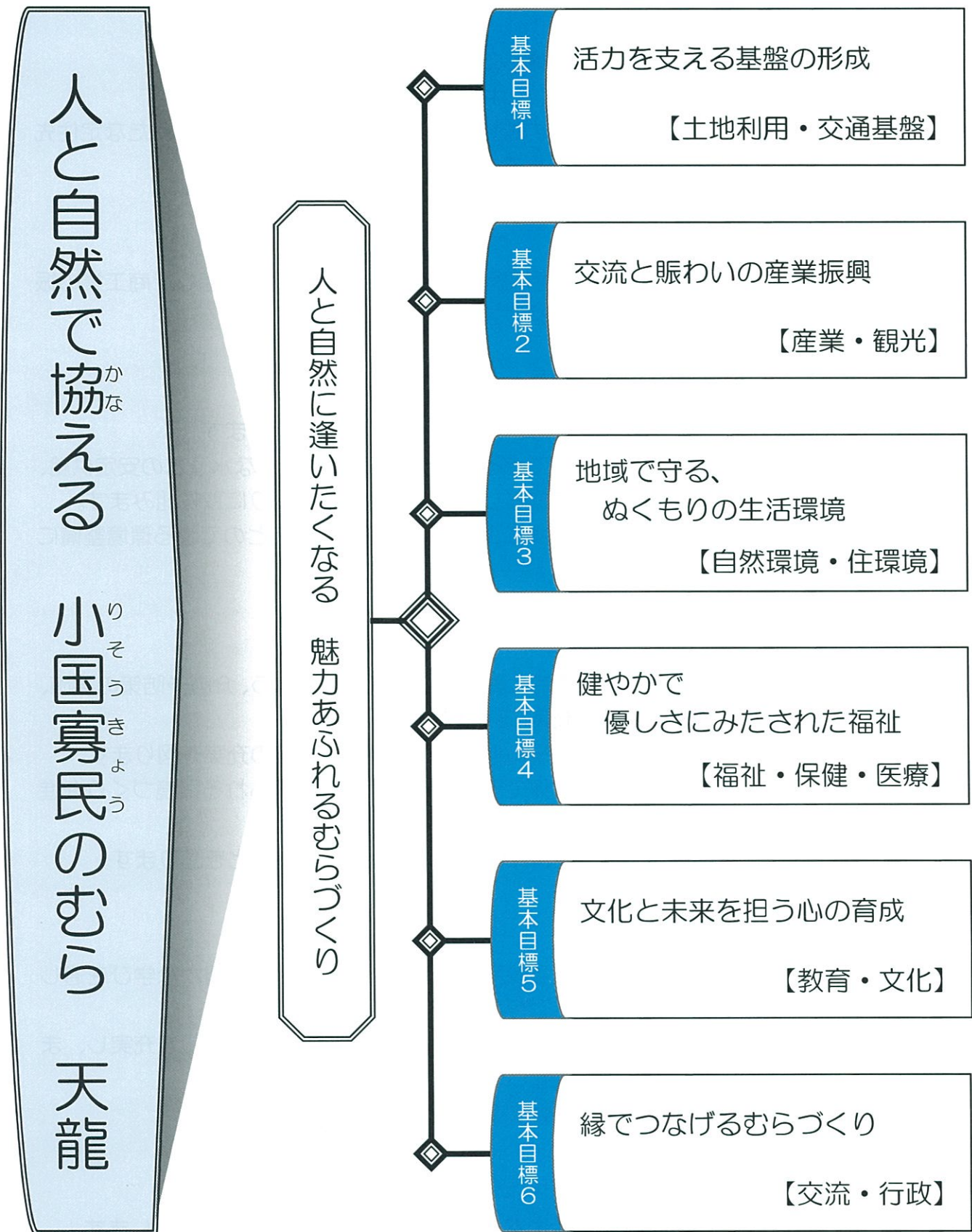
今後、これまで以上に地域間競争が激化する中、確かなむらづくりを進めていくためには、先人が守り育ててきた自然や歴史・文化、伝統等の「魅力」、地域住民の力を活かした「地域力」、行政組織、行政職員のレベルアップによる確かな「行政力」を高め、それらを活かすための新たな視点によるむらの設計図が必要となっています。

そこで、村民と行政が協働しながら、5年後の天龍村のあるべき姿を示し、その実現に向けてむらづくりを進めていくための総合的な指針・戦略として、これからの時代を切り開く第5次天龍村総合計画の見直しを図りました。また、辺地として逆境の地でもある本村においては、南信州地域全体での振興を考えることが重要であり、南信州広域連合が策定した第4次広域計画との整合も図り策定しました。

将来像

本計画は、今後の天龍村の発展と「人と自然で協える 小国寡民のむら」を実現するための施策のあらましを明らかにすることで、本村の進むべき明確なビジョンを示し、人材育成と横のつながりを強固にすることを目指します。活力に満ちた個性豊かな天龍村を創造する総合的な計画であり、むらづくりの指針となるものです。

人と自然で協える 小国寡民のむら 天龍



基本計画（平成28年度～平成32年度）

1. 活力を支える基盤の形成

- ☆村の活力を支える交通の安全や環境に配慮した道路整備を進めます。
- ☆リニア中央新幹線長野県駅開業を見据え、公共交通の利便性向上に努めます。
- ☆村の財産でもある山林の保全や優良農地の維持・確保、農林地の荒廃防止、新たな定住先となる土地の確保等土地の有効活用を進めます。

2. 交流と賑わいの産業振興

- ☆地域を活性化する農林水産業の振興や有害鳥獣対策の推進、高齢化に対応した商工業の振興、観光資源を活用した観光業の展開を図ります。

3. 地域で守る、ぬくもりの生活環境

- ☆村の宝であり村民の誇りでもある、豊かな自然環境の維持に取り組みます。
- ☆空き家の利用や多様な入居希望者に対応できる住宅の整備、安心安全な水道水の安定供給、情報通信サービスの充実等により快適で暮らしやすい生活空間づくりに取り組みます。
- ☆交通安全対策、防犯対策、防災対策の充実により安心して暮らすことのできる環境整備に努めます。

4. 健やかで優しさにみたまされた福祉

- ☆高齢者が住み慣れた地で安心して生き生きと暮らすことができるよう、介護予防策の実施、介護サービス等の充実、認知症対策の充実を努めます。
- ☆障がい者の相談支援事業の強化、生活支援の推進など障がい者施策の充実を図ります。
- ☆出産支援・子育て支援を推進し、地域全体で安心して子どもを育てられる環境づくりを進めます。
- ☆健康づくりの推進、医療提供体制の充実、保健・医療・福祉の連携強化を図ります。

5. 文化と未来を担う心の育成

- ☆少人数を活かし、少人数だからこそできる教育を推進します。地域発の豊かな学びを通して天龍村でなければつかない力「天龍力」を育む学校づくりを推進します。
- ☆趣味や楽しみを通して広がる人の輪を大切にするため、生涯学習活動の広報を充実し、また多世代間交流及び地域間交流活動を促進します。
- ☆文化財の保存伝承や保存管理、活用に努めます。

6. 縁でつなげるむらづくり

- ☆U・Iターン事業を推進し、新たな村の活力を呼び込むこむことで活性化を目指します。
- ☆近隣市町村との連携により、効率的な行政運営に取り組みながら質の高い行政サービスを提供します。